

(TGIトップ) <https://tsukuba-gi.jp>  
 (お問合せ)  
<https://tsukuba-gi.jp/access/>

連絡先 ①	氏名	犬塚 隆志
	所属・役職	事務局長
	アドレス	<a href="mailto:inutsuka.takashi.gn@un.tsukuba.ac.jp">inutsuka.takashi.gn@un.tsukuba.ac.jp</a>
	電話番号	029-869-8030
連絡先 ②	氏名	鈴木 雅人
	所属・役職	技術移転マネージャー
	アドレス	<a href="mailto:suzuki.masato.ft@un.tsukuba.ac.jp">suzuki.masato.ft@un.tsukuba.ac.jp</a>
	電話番号	029-869-8030

「来年度に向けての取組み(産学連携の取組み・支援、中小企業の支援、競争的資金等)」

「技術シーズの事業化支援」「共創の場形成」「つくば地域の国際化を推進」に向け、下記の取組みをします。

- ・医工連携イノベーション推進事業 (地域連携拠点自立化推進事業)(AMED)
- ・つくば総合特区研究開発プロジェクト支援
- ・つくばデジタルバイオコンソーシアム事務局 (JST共創の場関連)
- ・つくばテクニカルコンシェルジュ
- ・ハイレベルフォーラム取りまとめ

「アピールしたいこと(つくばの研究機関同士で、推進したい研究や取組みたいことを含む)」

○「種を育てる機構」のコンセプトのもと、下記のミッションに取り組めます。

- ・筑波研究学園都市の知的資源を生かした産学官の連携
- ・研究機関の技術シーズと産業界のニーズのマッチングによる新事業創生、ベンチャー育成等
- ・社会システムに大きなインパクトを与える成果をつくばから持続的に創出

○JST事業の社会還元加速プログラム(SCORE)大学推進型は、大学の優れた技術シーズを基にした成長ポテンシャルの高い大学等発ベンチャーの創出を促進することを目的としており、JSTから支援を受けた大学の主に産学連携部門が実施するもの。筑波大学は、令和2年度からJSTの支援を受けてSCORE大学推進型の運営を開始。

支援の対象は下記3点をすべて満たすチームの研究開発課題を対象とします。

- (1) 筑波大学の教員あるいは大学院生がチームの研究代表者(責任者)となり、チームの研究開発課題が起業を前提としていること。国立研究開発法人研究機関の研究者が構成員として参画するチームの研究開発課題も応募可能である。
- (2) 筑波大学の研究成果に基づいた明確な差別化技術が含まれている研究開発課題であること。
- (3) 大学発ベンチャーの起業意志があるチームの研究開発課題であり、SCORE大学推進型事業終了後にSTARTIに申請もしくはベンチャー創業を進めることを前提とすること。

その他  
(イベント案内)

・2022年2月、つくば産業振興センター2階(中央事務室)に事務所を移転します。

(合同連絡会への要望)  
など

・「合同連絡会」「筑波研究学園都市科学技術支援セミナー」として年数回開催しております。JST、NEDO、AMED等の研究開発・スタートアップ・技術移転支援事業の説明相談会や勉強会、茨城県やつくば市の最新技術や研究成果を社会実証するための制度の紹介や説明会等について、開催を希望する事業等あればお寄せいただければと思います。